

「平成28年度事業報告書」

公益社団法人 滋賀県私立病院協会

公益社団法人滋賀県私立病院協会 平成28年度事業報告書

平成28年度においては、公益社団法人として民間病院・会員施設の発展と質的向上による安定した医療の提供及び看護師はじめ必要な人材の養成並びに地域社会との連携による県民の公衆衛生、健康の保持と社会福祉の増進に貢献することを使命として、平成28年度事業計画に基づき、会員病院の協力を得て次のとおり実施しました。

特に、本年度は平成26年に法制化された“医療・介護総合確保推進法”に基づき、地域医療構想の実現や地域包括ケアシステムの構築等の医療・介護制度改革が順次施行され、地域の住民が住み慣れた地で施設・在宅で暮らすことができるように、必要な医療・介護・福祉のサービスが包括的に、継続的に提供できる“地域包括ケアシステムの構築”が本格始動する年でありました。

こうした中、当協会は地域の住民が地域で安心して過ごせるよう、また民間病院として「地域包括ケアシステムの構築」の実現に向けてその役割を果たすべく、積極的に参画しそれぞれの地域や立場の中、取り組みを行って参りました。

また、当法人の公益目的事業の主要事業として管理運営している滋賀県堅田看護専門学校は平成3年の開校以来、今日まで974名の卒業生を輩出、看護師として養成し、その95%が会員病院はじめ県内病院に勤務している実績は、開校の目的と会員病院はじめ県内の看護師確保及び地域住民の安全と安心の確保に多大の貢献をしているところであります。

併せて、県内病院病床数の約50%を占める民間病院を会員とする本協会の活動の実態が広く地域住民及び関係機関に理解と支援が得られるよう、あらゆる機会をとらまえ一丸となって発信に努めました。

1. 協会の組織力の強化

会員相互の団結と協調をより強固とするため次の事業を重点的に実施しました。

- (1) 総会の開催 通常総会（平成28年6月16日：27会員、44名が出席）
- (2) 理事会の円滑な運営と指導体制の強化（理事会／毎月開催、10回開催）
- (3) 事務長部会との連携と指導の強化（研修会、近病連開催協力）
- (4) 滋賀県堅田看護専門学校との連携と指導の強化
(運営会議／毎月開催、10回開催)
- (5) 会員への情報提供の強化と会員の拡大
(情報ネットワークによる情報提供／11件)

2. 行政との協調と対話

医療提供者としての役割と責務を果たすために、県、各市町はじめ関係行政当局及び関係機関との協調に努め、会員病院の現状認識の共有とその実態に即した円滑な実施への理解と支援を求めました。

- (1) 滋賀県知事あて次年度の予算編成に向けての要望書を提出（10月19日）
滋賀県健康医療福祉部 藤本部長に面会し、以下の要望書を提出し、今後の医療提

供体制における私立病院の役割について意見交換し、併せて看護学校の運営、施設整備、教員確保、実習施設確保などについて更なる支援を要望した。

「地域医療構想の実現に向けて」

「医療分野におけるICTの活用促進について」

「滋賀県堅田看護専門学校の支援について」

(2) 滋賀県医療審議会に出席(7月26日、3月28日)

医療法の規程に基づき滋賀県の医療供給体制の確保などに関する重要事項を審議する場として設置された、滋賀県医療審議会の委員として当協会の古倉理事が出席し、保健医療計画、地域医療構想などの審議を通じ、地域医療ビジョンの確立に向けての、私立病院が果たす役割などについて発信を行なった。

(3) 当協会の主催する研修会に、健康医療福祉部 角野次長様を講師として招聘し、地域包括ケアシステムについて連続して講演を頂きました。

① 事務長部会研修会/11月8日 地域包括ケアシステムの実現を目指して」

② 職員研修会/2月2日「地域包括ケアシステムの構築を目指して」

(4) 在宅医療セミナー企画検討会議に出席

在宅医療に携わる医師の増加を目的に開催するセミナーのあり方について、当協会を代表して古倉理事が出席し、地域医療を担う私立病院とかかりつけ医師等との連携について発信した。

3. 関係諸団体との協調と連携

医療制度、医療保険制度への提言と課題等、当面する課題について、近畿病院団体連合会等との連携により取り組みました。

特に本年度は、近畿病院団体連合会委員会の事務局を担当し、近畿各府県病院協会から多数の参加を得て当面する諸課題について議論を深め、情報提供を行いました。

また、地域医療における共通する身近な課題の解決のため、滋賀県病院協会、滋賀県医師会との情報の共有と協調に積極的に取り組みました。

* 平成29年度県予算編成に対する要望

(自民党滋賀県議員団、滋賀県議会民主党・県民ネットワーク)

* 近畿病院団体連合会委員会の開催(滋賀県:7月21日・2月23日)

* 近畿病院団体連合会事務長会への参加(奈良県:9月2日・3月16日)

* 平成28年度滋賀県立リハビリテーションセンター県民参画事業の後援

* 日本医療マネジメント学会第14回京滋支部学術集会の後援

* 高齢者のための在宅医療促進を考える県民講座の後援

* 滋賀県病院大会に出席

* 滋賀県理学療法士会創立40周年記念式典に出席

* メディカルジャパン2017大阪の後援

4. 研修会・広報事業及び情報交換

(1) 講演会・研修会の開催

① 職員研修会(平成29年2月2日(木):医療研修施設ニプロiMEP)

会員病院の幹部職員はじめ 65 名の参加を得て開催しました。

研修内容

研修 1 講演会

講師 医療法人幸生会 琵琶湖中央病院院長 高橋 伯夫 様

演題 「某私立医科大学経営改善の軌跡（奇跡？）概要」

研修 2 講演会

講師 滋賀県健康医療福祉部次長 角野 文彦 様

演題 「地域包括ケアシステムの構築を目指して」

懇談会 滋賀県健康医療福祉部健康医療課長 嶋村 清志 様

会員病院幹部職員等

② 新任職員等研修会（平成 28 年 4 月 21 日（木）：大津市北部地域文化センター）

会員病院の新任職員、堅田看護専門学校の新入生、職員等 212 名の参加を得て開催しました。

研修 1 接遇研修

講師 ファイザー（株）地域医療推進部 金子 恵美 様

演題 「顧客満足のサービスマインドについて」

研修 2 人権研修

講師/（公財）滋賀県人権センター 人権啓発担当 村井 亜矢 様

演題 「いのち・輝く 人権」

③ 事務長部会医療経営部会研修会

（平成 28 年 11 月 8 日（火）：近江八幡市立総合医療センター）

会員病院事務長はじめ地域包括ケアに関連する多職種の職員 58 名が参加し、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、地域で支援する体制の構築が求められることに着眼した研修会を実施。

講師に、地域包括ケアシステムの構築に造詣の深い、滋賀県健康医療福祉部 角野次長をお迎えし、「地域包括ケアシステムの実現のため」と題して、医療機関の役割を探るための講演会とパネルディスカッションを実施しました。

研修 1 基調講演会

講師 滋賀県健康医療福祉部次長 角野 文彦 様

演題 「地域包括ケアシステムの実現のために～医療機関の役割～」

研修 2 パネルディスカッション

「2016年診療報酬改定に見る地域連携の現状～各医療圏からの報告～」

パネラー

南草津病院

加藤裕一郎氏

甲南病院

小西増太郎氏

ウォーリス記念病院

澤谷久枝氏

コメンテーター

滋賀県健康医療福祉部次長 角野文彦氏

（2）研修会、講演会の公開、会員病院・看護専門学校の専門技術、知識、設備を活用した地域貢献事業を実施しました。

① 研修会、講演を公開講座として実施しました。

- ② 公益法人としての地域貢献として、会員病院及び関係機関が主催、共催する各種研修会、講演会等の事業に後援、協賛、共催しました。
- ③ 自治会、学校、会員病院、医療・介護施設への教員の派遣、教育機材の貸出しました。
- ④ 高校などの要請に基づき、看護師を志す生徒に模擬事業、体験学習を実施しました。

(3) 会員親睦事業の実施

- ① 会員病院相互の親睦を深めるためゴルフ大会を実施
春期ゴルフ大会／ 4月14日 12名
秋期ゴルフ大会／ 10月23日 10名
- ② 会員病院及びその職員の持ち家取得促進に供するため、住宅メーカーと協定を締結しました。(協定した住宅メーカーから住宅購入、建設請負の契約を行った場合、割引価格となる。)
協定した住宅メーカー 大和ハウス工業株式会社／積水ハウス株式会社

5. 生活習慣病予防健診等健診事業の受託推進

協会けんぽの保健事業として実施される生活習慣病予防健診事業の受託実績の拡大に取り組みました。

平成28年度実績 15施設 32,085件(前年度比109.7%)

6. 事務長部会の円滑な運営と会員病院間の連携

当協会事業の実施に中核的役割を担っている事務長部会は、次の事業を積極的に実施し、当協会事業の円滑な推進と会員病院相互の連携と情報の共有に努めました。

- (1) 定例事務長部会の開催
- (2) 常任事務長会の開催
- (3) 各研修会の開催と運営
- (4) 総務／医療経営／医療安全／各委員会活動の充実強化
- (5) 堅田看護専門学校と連携し、円滑な運営に協力
 - ① 学校運営会議委員として出席
 - ② 学校運営協力病院事務長会の開催
 - ③ 入学試験の実施に協力
- (6) 近病連委員会の運営補助

7. 堅田看護専門学校の健全な運営と優秀な学生の確保並びに看護師の養成

(公益目的事業)

この事業は、当協会の公益目的事業であることを共通認識とし、円滑な学校運営に努めました。

- (1) 学校運営の円滑な推進と指導体制の強化
 - ① 関係法令、通知等の遵守
 - ② 教員の確保と教育体制の整備

- ③ 職員会議の開催（毎月・開催）
- ④ 教務会議の開催（毎月・随時開催）
- ⑤ 学校運営会議による指導管理体制の強化（運営会議／10回開催）
- ⑥ 入学試験合否判定会議の開催（11月・1月・3月）

（2）優秀な学生確保と看護師の養成

- ① 設立主旨・奨学金制度の周知広報と受験生・奨学生の確保（年間）
- ② 学校訪問による学校案内と生徒指導の要請（7月／県内17校）
- ③ オープンキャンパスの実施（7月30日／一般参加者64名）
（奨学金相談コーナー設置した会員病院／16病院）
- ④ 校内見学の実施と受入れ（年間／25名）
- ⑤ 各種学校説明会・模擬授業、看護体験等の実施（年間／18会場・124名）
- ⑥ ホームページ、パンフレット等による広報活動の推進（年間）
- ⑦ 29年度入学試験の実施

実施結果（推薦入試11月17日／一前期般入試1月11日／一般後期入試3月4日）

		応募者	受験者	合格者	入学者
推薦入試	指定校	8 (9)	8 (9)	8 (9)	8 (9)
	公募	5 (7)	5 (7)	4 (6)	4 (6)
	社会人	12 (13)	12 (12)	9 (9)	9 (8)
一般入試	前期	36 (61)	35 (58)	26 (26)	11 (12)
	後期	38 (35)	32 (29)	17 (11)	12 (6)
合計		99 (125)	92 (115)	64 (61)	44 (41)

():28年度

（3）教育内容と生徒指導の充実強化

- ① 学生情報の共有による留年・退学の予防と対策の強化
- ② 国家試験対策等学生指導体制の充実（試験／2月19日 発表3月27日）
【国家試験結果 受験者／30名 合格／28名 合格率93.3%】
- ③ 設立主旨・奨学金制度の周知広報と受験生・奨学生の確保（年間）
- ④ 実習施設の充実と確保及び会員病院への協力要請
- ⑤ 非常勤講師の確保及び会員病院への支援要請
- ⑥ 実習施設・実習指導者及び非常勤講師との情報の共有と連絡調整の徹底
- ⑦ 協力病院看護部長懇談会の開催（6月23日／16病院出席）
- ⑧ 講師会議の開催（4月5日／13名出席）
- ⑨ 実習指導者学習会の開催

講演「教育学の視点から看護学実習を考える」

講師 大阪大学大学院 準教授 岡部 美香 様

(7月25日／参加者・県内看護学校を含め23施設64名)

- ⑩ 保護者・協力病院とのネットワーク体制の確立による適切な学生指導
保護者懇談会の開催(入学式・戴帽式当日)
- ⑪ 卒業生との交流と支援
卒業生交流会の開催(6月25日／10名、11月24日／16名)
- ⑫ 図書室の効果的な運用と図書整備
蔵書・文献検索指導と支援
講師、教員に対する教育文献の検索支援と文献資料の提供
図書室の利用時間の延長(利用者延べ1,027名)
学校図書委員会の開催(3回開催)
学生図書委員会の開催(27回開催)
図書室だよりの発行(9回)
蔵書の更新・管理・整備(年間)
卒業生、会員病院職員への図書室の開放(利用者数24人)
- ⑬ 心の相談室「ひだまり」の開設(11日／利用者14件)

(4) 看護師等学校養成所指定規則等の遵守と円滑な実施

- ① 看護師等学校養成所指定規則等関係法令遵守
- ② 学校評価検討委員会の設置と検討

(5) 学校施設の整備

空調施設の更新及び断熱ガラス・LED照明への交換工事を実施しました。

この工事は、国土交通省の省エネ化推進事業補助金及び大津市企業局の補助金を受けて実施しました。

工事費／56,376千円 補助金(国)／16,869千円 補助金(市)1,230千円

(6) 指導官庁、関係機関との協調

厚生労働省近畿厚生局、滋賀県及び大津市等行政当局との連携を密とし、適正な運営に努めました。

(7) 大津市看護学校運営事業費補助金の継続に対する取組

大津市の当校に対する運営補助金は、平成28年度でもって廃止予定のとされていたが、大津市長への面談はじめ、各種取組みを進めた結果、平成29年度以降も継続実施されることとなりました。